

# レスキュー練習会・海上パトロール

令和4年4月28日

- 日 時：令和4年4月10日（日） 9:00～13:00 <海上パトロール>  
令和4年4月24日（日） 13:00～13:00 <レスキュー練習会>
- 場 所：マリパーク御前崎・御前崎海岸
- 参加者：10日：増田、久保田  
24日：増田、久保田

4月10日（日）の海上パトロールおよび24日（日）のレスキュー練習会とも年度初めの多忙な時期と重なったためか、参加者は2名と少人数であった。

10日の海上パトロールでは人数も少なかったため、水上オートバイの下架に多少時間がかかった。いつもは少なくとも3～4名で行っている作業を2名で行わなければならない、必要資器材の準備から重機の手配、水上オートバイの運搬など、いつもより1名にかかる負担も大きく、時間を要した。逆にいえば、いつもは誰かがやってくれる業務をすべて自分で行わなければならない、参加した久保田さんは「細かなところまで確認することができた」「良い経験になった」と語っていた。海のコンディションは穏やかで、風も弱く、マリパーク～ロングビーチ～新野川河口～ロングビーチ～灯台前～マリパーク～御前崎西ふ頭～マリパークというルートでフルコースをパトロール。久保田さんにとっては、全工程を一人で航行することも初めてのことだった。特に危険行為や事故もなく無事に終了した。

24日のレスキュー練習会も久保田さんと増田の2名のみ。この練習会の数日前に、蒲郡のレジャー施設内でのショーにおいて水上オートバイの事故が発生していたため、練習とはいえ、来場者のいるマリパーク内での操船が悪いイメージにつながることも懸念し、この日は中距離航行訓練とした。前回の海上パトロールの復習もかねて今回は御前崎港マリーナから地頭方港沖までをパトロール。当初、草競馬大会の実施されている相良サンビーチまでと考えていたが、途中、天候が崩れだし、雷雲らしい雲が目的地上空に確認されたため、途中で引き返した。御前崎港マリーナ内の最徐行ルールを確認し、スロープからの上陸方法についても確認、その後、旧貯木場へ移動し、着岸練習、潮流内での操船などを行った。

今月は最小人員での開催となったが、その分、非常に内容の濃い海上パトロールおよびレスキュー練習会となった。大人数での実施も良いが、このように少人数で集中して確認することも必要と感じた。今後の活動への参考としたい。

